

学校 番号	23	学校名	長野県更級農業高等学校
----------	----	-----	-------------

平成 27 年度 学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【平成 27 年 6 月 9 日（火）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- (1) 参加者
学校評議員 6 人(欠 1)、学校関係者 10 人（校長・教頭・事務長・教務主任・生徒指導主事・進路指導主事代理・生徒会主任・農場主任・学校評価委員長・職場代表）
- (2) 内 容（次第）
 <授業参観> 2 年生 農業科目（各コース別授業）を中心に
 <評議員会> 学校評議員委嘱 ①開会のことば ②学校長あいさつ ③自己紹介 ④学校概要（学校の近況、学校評価、生徒指導、進路指導・学習指導、生徒会活動、農業教育） ⑤学校評議員からの意見聴取 ⑦まとめ ⑧閉会のことば

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- (1) 本年度は新規に 4 名が評議員となったため、評議員会に先立って授業参観を実施し、授業の内容や生徒の実態をご覧いただくことで、具体的な学校理解につなげた。
- (2) 学校評価計画や主要分掌の教育計画、学校要覧、学校紹介リーフレット、広報情報紙（「更農 Newspaper」）を資料とし、本校の特色と魅力、生徒の活躍の様子をお伝えした。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- (1) 本校の印象について
- ・ 1 年をかけて学校の活動を振り返り意見をもらい、次年度へつなげていくという姿勢は素晴らしい。（評議員）
 - ・ 授業・実習では、先生方が丁寧に指導していた。座学でも静かで、生徒が主体的に動けるような声掛けをしてくれている。（評議員）
 - ・ 生徒があいさつを活発にしてくれるが、その時の表情がよい。地域や体験学習などで自分が役立っているという思いを抱き、それが表情のよさにつながっているのではないかと。（評議員）
 - ・ 校舎内もきれいである。（評議員）
 - ・ 篠ノ井地区のあいさつ運動では、積極的に企画を出したり、大きな声を出したりしてくれるのでありがたい。企画力があり、面白い学校だ。（評議員）
- (2) 人材育成及び身につけさせたい資質・能力について
- ・ 職場の新人を見ていると、自主性がなく、言われたことだけを正確に行おうとする傾向がある。自分から何かを行う達成感を感じる 3 年間にしてほしい。（評議員）
 - ・ 人事の面接では学生は皆同じ答えをする。難しい言葉を覚えて喋るよりも自分の言葉で話せる人間になってほしい。（評議員）
 - ・ 現在農業の中心は 70 代。若い人に農業に携わる意義を教えてほしい。（評議員）
- (3) 進路指導について
- ・ 就職希望者が増加傾向にあり、個人ごとの面接等の指導に力を入れ、内定率アップに努めている。キャリア教育全体計画にそって、系統的・段階的な指導を行い、学校生活の各場面で社会人基礎力を身に付けさせたい。3 年生のコーススタディ、2 年生の就業体験等を行うことで、早い段階からの社会との接触を通して、将来設計やコミュニケーション能力を育てたい。（学校）
 - ・ 今年度就職支援員が導入されることはありがたい。専門的な情報やアドバイスをぜひいただきたい。（評議員）
 - ・ 研究活動（課題研究）を通して、自主性を育成し、自ら発信できる人材を育ててはどうか。（評議員）

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・ 就職希望者が年々増える現況であるが、社会人としてのどのような能力や態度を育成したらよいのか、評議員の方から現場での人材育成に関する課題をお聞きでき、今後の学校教育の参考としたい。
- ・ 生徒の印象について、評議員の皆様からは指導の結果や成果が目に見える形で表れてきていると、一定の評価をいただいております。今後の励みとしたい。
- ・ 多角的な学習指導の充実（基礎学力向上、大学進学につなげる力）、系統的・段階的なキャリア教育の推進、資格取得の推進、地域と連携した開かれた学校づくりに努めるとともに、挨拶励行・制服指導・マナー徹底をこれからも図り、学校重点目標の実現に向けて学校運営を推進していきたい。